

事後評価調書

I 事業概要																																									
事業名	農業農村整備事業（たん水防除事業）																																								
地区名	おぐら 小倉地区																																								
事業箇所	常滑市																																								
事業のあらまし	<p>本地区は、愛知県知多半島に位置し、北側を二級河川矢田川、南側を二級河川^{やだがわ}前山川^{まえやまがわ}に挟まれた丘陵部にある農村地域である。</p> <p>地区内流域 230ha の洪水時の排水は、昭和 42 年に設置された小倉排水機場により矢田川に強制排水している。</p> <p>しかし、流域内開発による降雨流出量の増加や既設排水機場の老朽化に伴う排水能力の低下により、地区の排水状況は著しく悪化し、豪雨時にはしばしば農地や農業用施設、公共施設等に湛水被害が生じていた。</p> <p>このため、機能低下が著しい小倉排水機場を更新整備することにより湛水被害を防止し、農業経営の安定と県民生活の安全・安心を図ることを目的として、平成 15 年度からたん水防除事業小倉地区を実施し、平成 24 年度に完了した。</p>																																								
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>機能低下した排水機場を更新整備し、農地、農業用施設及び公共施設等の湛水被害を防止する。（計画基準雨量 363.5 mm/3 日、1/20 年確率雨量）</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>																																								
事業費	事業費		内訳																																						
	11.0 億円		■工事費 8.2 億円、■用補費 1.3 億円、■その他 1.5 億円																																						
事業期間	採択年度	平成 15 年度	着工年度	平成 16 年度	完成年度	平成 24 年度																																			
事業内容	排水機場 1 か所																																								
II 評価																																									
①事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>事業完了年度からの 5 年間で、最大 3 日連続雨量は平成 25 年 8 月 5 日～8 月 7 日に 160.0 mm（最大 1 時間雨量 55.0 mm）を観測したが、農地や公共施設等の湛水被害は発生していない。</p> <p>降雨実績</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="5">〔 H24. 1. 1～H24. 10. 16 東海観測所降雨データ 〕</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="5">〔 H24. 10. 17～H28. 12. 31 大府観測所降雨データ 〕</td> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>計画</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> <tr> <td>最大3日連続雨量</td> <td>363.5 mm</td> <td>87.0 mm</td> <td>160.0 mm</td> <td>99.0 mm</td> <td>137.0 mm</td> <td>102.5 mm</td> </tr> <tr> <td>（最大1時間雨量）</td> <td>(52.2 mm)</td> <td>(25.0 mm)</td> <td>(55.0 mm)</td> <td>(17.0 mm)</td> <td>(14.0 mm)</td> <td>(20.0 mm)</td> </tr> </table>							〔 H24. 1. 1～H24. 10. 16 東海観測所降雨データ 〕							〔 H24. 10. 17～H28. 12. 31 大府観測所降雨データ 〕					区分	計画	H24	H25	H26	H27	H28	最大3日連続雨量	363.5 mm	87.0 mm	160.0 mm	99.0 mm	137.0 mm	102.5 mm	（最大1時間雨量）	(52.2 mm)	(25.0 mm)	(55.0 mm)	(17.0 mm)	(14.0 mm)	(20.0 mm)
			〔 H24. 1. 1～H24. 10. 16 東海観測所降雨データ 〕																																						
			〔 H24. 10. 17～H28. 12. 31 大府観測所降雨データ 〕																																						
区分	計画	H24	H25	H26	H27	H28																																			
最大3日連続雨量	363.5 mm	87.0 mm	160.0 mm	99.0 mm	137.0 mm	102.5 mm																																			
（最大1時間雨量）	(52.2 mm)	(25.0 mm)	(55.0 mm)	(17.0 mm)	(14.0 mm)	(20.0 mm)																																			
		<p>【達成状況に対する評価】</p> <p>最大 3 日連続雨量は計画基準雨量以下であるが、最大 1 時間雨量では計画以上の雨量に対して湛水被害は発生しておらず、本事業は地域の農業経営の安定と県民生活の安全・安心に寄与していると評価できる。</p>																																							
	2) 副次目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>—</p> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>—</p>																																							

②事業効果の発現状況	【費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化】				
	項 目		事業採択時 (H15)	実績 (H29)	備考
	事業期間		H15～H21 (7年間)	H15～H24 (10年間)	
	事業費 (億円)	工事費	9.6	8.2	
		用地補償費	1.3	1.3	
		その他	1.7	1.5	
		合計	12.6	11.0	
	効果の算 定要因	流域面積	230 ha	230 ha	増減なし
		農地面積	98 ha	96 ha	減 2ha
		宅地等面積	132 ha	134 ha	増 2ha
<p>【事業期間に対する評価】 事業期間を3年延長したが、排水機場の本体整備を優先的に進めたことにより平成21年度に排水機場は稼働していたため、湛水被害は発生しておらず、期間延長による大きな影響はなかった。</p> <p>【事業費に対する評価】 工事の入札結果（請負差額）等により、事業採択時(H15)より事業費が1.6億円減で事業完了できた。</p> <p>【効果の算定要因に対する評価】 事業採択時(H15)と比較して、流域面積に増減はなく、農地面積は微減している。 排水機場の更新整備により、湛水被害が防止されており、効果については、概ね計画どおり発現していると評価できる。</p>					
③事業実施による環境の変化	<p>施工にあたり、低振動、低騒音の作業機械を使用するなど、周辺環境に配慮したことから、自然環境や生活環境へのマイナスの影響はほとんどない。</p>				
Ⅲ 対応方針（案）					
今後の事後評価の必要性	主要目標が概ね計画通り達成されているため、今後の事後評価は不要である。				
改善措置の必要性	主要目標が概ね計画通り達成されているため、改善措置は不要である。				
同種事業に反映すべき事項	必要な年度予算を常に把握し、適正な進行管理を行う。また、予算の変動が生じた場合は、排水機場の本体整備を実施する地区を優先するなど、限られた予算の範囲で早期に事業効果が発現するよう調整し、事前に関係機関や地元への説明を十分に行う。				
Ⅳ 事業評価監視委員会の意見					
小倉地区の対応方針（案）[改善措置等必要なし]を了承する。					
Ⅴ 対応方針					
改善措置等必要なし					